

「平成 29 年 1～3 月期 中小企業 景気動向調査」 結果報告

— 横ばい圏内から脱却、3年ぶりの高水準 —

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご報告します。詳細については別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査／静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

- 調査時期 平成 29 年 3 月 1 日～9 日
- 調査対象 静岡県西部地域の中小企業 546 社
- 回収状況 回収数 542 社（回収率 99.3%）
- 調査方法 調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

① 平成 29 年 1～3 月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－1.6 となった。平成 28 年 12 月の前回調査（－11.0）と比べて 9.4 點の改善となり、消費増税直後の平成 26 年 6 月調査より続いていた小幅の動きからは良い意味で脱却し、業況が「良い」と「悪い」が同数の 0.0 の間近まで改善した。

②平成 29 年 4～6 月期の見通し

次回の業況 DI は 5.6 點悪化の－7.2 を見込む。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	→ 今期	→ 次期見通し	
全体	542	-11.0	<b>-1.6</b>	-7.2	
製造業	276	-7.9	<b>-4.0</b>	-6.5	
二輪車部品製造	48	-22.0	<b>-4.2</b>	-14.9	業況DI改善、消費増税以前の水準に。受注良好のコメント多くみられる。
自動車部品製造	69	-1.4	<b>20.3</b>	7.2	業況DI大幅改善しプラス水準へ。プラス水準はH20年3月以来。
機械部品製造	53	-18.9	<b>-17.0</b>	-20.8	業況DI改善も小幅。1年前、2年前と比べると水準は低い。今回、海外好調に関するコメント復活。
楽器部品製造	18	5.6	<b>-16.7</b>	0.0	業況DI悪化し、3四半期ぶりにマイナス水準へ。
繊維製造	24	4.3	<b>-41.7</b>	-16.7	業況DI、大幅悪化も次回は大幅改善見通し。
卸売業	67	-10.8	<b>-1.5</b>	-9.1	業況DI改善、消費増税以前の水準に。自動車関連、大河ドラマ関連が好調。
小売業	54	-39.6	<b>-14.8</b>	-7.4	業況DI改善、-10台への改善は1年ぶり。
建設業	64	-4.7	<b>18.8</b>	-14.1	3月は例年改善傾向、業況DIは1年ぶりにプラス水準へ。
不動産業	41	-7.3	<b>9.8</b>	0.0	こちらも3月は例年改善傾向。
飲食・宿泊・レジャー等	12	-50.0	<b>-16.7</b>	33.3	業況DI改善、大河ドラマに期待。

本件のお問い合わせ先

特非) 静岡県西部地域しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510  
 〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2 丁目 7-1 浜松商工会議所会館 5 階